

## 監査結果報告書

### 1 監査の実施日

令和3年6月23日（水）

### 2 監査の対象

碓ヶ関開発株式会社 代表取締役社長 桑 田 直 樹

### 3 監査の概要

出資団体である碓ヶ関開発株式会社に対し、令和2年度の会計経理及び財産管理状況、各種事業の運営状況、指定管理者として委託を受けた施設の管理状況について自主監査した。

監査に当たっては下記項目に主眼を置き、関係帳簿、振替・収入・支出伝票、仕入台帳等を総勘定元帳と照合、その他必要と認められる書類を点検したほか、経理担当職員から説明を聴取することにより監査を実施した。

#### 【監査項目】

- (1) 定款並びに経理規定等は整備されているか。
- (2) 設立目的（出資目的）に沿った事業運営が行われているか。
- (3) 決算諸表等は法令等に準拠して作成されているか。
- (4) 事業成績及び財務状況は適正に決算諸表等に表示されているか。
- (5) 経営成績及び財政状況は良好か。
- (6) 人件費の内容、金額は事業規模に比較して適切か。
- (7) 関係帳票の整備、記帳は適切か。また、領収書等の証拠書類の整備、保存は適切か。
- (8) 会計経理及び財産管理は適切か。
- (9) 資金の運用は適切か。また、経費節減は図られているか。

### 4 監査の結果

事業の実施状況は、出資目的に沿って計画的かつ効率的に運営されており、関係伝票、諸帳簿と照合した結果、適正と認められた。

なお、売上高は前年度に比べ100,969,023円（33.8%）減の198,164,988円であり、販売費及び一般管理費についても、前年度に比べ1,941,143円（1.3%）減の148,962,719円となっている。減額の主な要因としては、新型コロナウイルスによる感染症予防対策のため、年間の集客数が減少し、商品や入浴料、食堂の売上が減となったことが挙げられる。

当該年度純利益は3,894,418円である。これは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響により、売上が減となったものの、事業の継続支援のため補助金を上乗せしたことによるものである。当該施設は碓ヶ関地域の核となる施設であり、当市における観光の一翼を担っていることから、今後も施設の大規模改修実施に向け経営合理化を推し進め、経常利益の黒字化をお願いしたい。

以下、項目ごとの結果について記述する。

(1) 令和2年度（第24期）決算について

令和2年度の委託事業を含めた営業成績は次のとおりである。

貸借対照表比較表

(令和3年3月31日現在)

(単位：円、%)

科 目	令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
流動資産	109,011,363	56,445,071	52,556,292	93.1
現金	2,314,153	3,128,561	△814,408	△26.0
預金	93,189,791	38,864,013	54,325,778	139.8
売掛金	933,720	1,190,687	△256,967	△21.6
商品券	861,000	0	861,000	皆増
未収入金	951,363	961,102	△9,739	△1.0
未収消費税	1,587,300	0	1,587,300	皆増
商品	6,624,323	9,322,496	△2,698,173	△28.9
食材	2,360,389	2,877,384	△516,995	△18.0
製品	119,548	41,052	78,496	191.2
前払費用(貯蔵品)	69,776	69,776	0	0.0
固定資産	14,358,771	6,785,655	7,573,116	111.6
(有形固定資産)	13,549,111	5,777,275	7,771,836	134.5
建物	906,059	1,044,045	△137,986	△13.2
建物附属設備	52,724	61,449	△8,725	△14.2
機械装置	2	22,597	△22,595	△100.0
車輛運搬具	5,925,860	0	5,925,860	皆増
工具器具備品	3,123,350	12	3,123,338	26,027,816.7
リース資産	3,541,116	4,649,172	△1,108,056	△23.8
(無形固定資産)	809,660	1,008,380	△198,720	△19.7
電話加入権	75,600	75,600	0	0.0
ソフトウェア	678,960	877,680	△198,720	△22.6
出資金	55,100	55,100	0	0.0
資産合計	123,370,134	63,240,726	60,129,408	95.1
流動負債	20,165,115	22,317,483	△2,152,368	△9.6
買掛金	6,378,643	8,464,477	△2,085,834	△24.6
未払金	10,297,473	9,442,277	855,196	9.1
預り金	3,308,999	2,118,529	1,190,470	56.2
未払法人税等	180,000	180,000	0	0.0
短期借入金	0	0	0	-
未払消費税	0	2,112,200	△2,112,200	皆減

固定負債	71,603,030	13,215,672	58,387,358	441.8
長期借入金	60,000,000	0	60,000,000	皆増
リース債務	3,517,430	4,649,172	△1,131,742	△24.3
退職給与引当金	8,085,600	8,566,500	△480,900	△5.6
負債合計	91,768,145	35,533,155	56,234,990	158.3
資本金	20,000,000	20,000,000	0	0.0
剰余金	11,601,989	7,707,571	3,894,418	50.5
当期末処分利益	11,601,989	7,707,571	3,894,418	50.5
うち当期純利益	3,894,418	2,851,400	1,043,018	36.6
資本合計	31,601,989	27,707,571	3,894,418	14.1
負債資本合計	123,370,134	63,240,726	60,129,408	95.1

#### 【貸借対照表について】

##### ・ 資産について

流動資産が109,011,363円で前年度より52,556,292円(93.1%)の増となっているが、預金が前年度より54,325,778円(139.8%)の増であったことが主な要因と思われる。

固定資産は14,358,771円で、前年度より7,573,116円(111.6%)の増となっているが、キッチンカーの購入と工具器具備品を購入したことにより、有形固定資産が前年度比134.5%増となったことが主な要因である。

以上により、資産合計は123,370,134円で前年度より60,129,408円(95.1%)増加している。

##### ・ 負債について

流動負債が20,165,115円、で前年度より2,152,368円(9.6%)の減となっているが、未払消費税が2,112,000円の皆減であったことが主な要因と思われる。

固定負債は71,603,030円で、前年度より58,387,358円(441.8%)の増となっているが、主な要因として、長期借入金の60,000,000円が前年度比皆増となったことが主な要因である。

以上により、負債合計は、91,768,145円で前年度より56,234,990円(158.3%)の増となっている。

損益計算書比較表

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位：円、%)

科 目	令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
売上高	198,164,988	299,134,011	△100,969,023	△33.8
商品売上	80,757,479	131,295,854	△50,538,375	△38.5
食堂売上	79,360,136	121,168,057	△41,807,921	△34.5
その他売上	19,747,941	28,852,172	△9,104,231	△31.6
指定管理料及び受託料	10,532,000	15,248,721	△4,716,721	△30.9
業務受託料	5,848,544	0	5,848,544	皆増
自販機収入	1,918,888	2,569,207	△650,319	△25.3
売上原価	96,812,251	152,716,151	△55,903,900	△36.6
期首棚卸高	12,240,932	12,398,593	△157,661	△1.3
商品仕入	60,998,905	99,358,396	△38,359,491	△38.6
食材仕入	30,938,341	51,469,412	△20,531,071	△39.9
営業料支出	1,738,333	1,730,682	7,651	0.4
合計	105,916,511	164,957,083	△59,040,572	△35.8
期末棚卸高	9,104,260	12,240,932	△3,136,672	△25.6
売上総利益	101,352,737	146,417,860	△45,065,123	△30.8
販売費及び一般管理費	148,962,719	150,903,862	△1,941,143	△1.3
営業利益	△47,609,982	△4,486,002	△43,123,980	961.3
営業外収益	49,207,957	5,242,923	43,965,034	838.6
受取利息	122	706	△584	△82.7
補助金	49,030,917	5,130,608	43,900,309	855.7
雑収入	176,918	111,609	65,309	58.5
営業外費用	404,457	4,320	400,137	9262.4
支払利息	381,457	0	381,457	皆増
雑損失	23,000	4,320	18,680	432.4
経常利益	1,193,518	752,601	440,917	58.6
特別利益	2,880,900	2,278,800	602,100	26.4
退職給与引当金戻入	2,880,900	2,278,800	602,100	26.4
特別損失	0	1	△1	皆減
固定資産除却損	1	1	0	0.0
税引前当期純利益	4,074,418	3,031,400	1,043,018	34.4
法人税等	180,000	180,000	0	0.0
当期純利益（当期純損失）	3,894,418	2,851,400	1,043,018	36.6
前期繰越利益剰余金（前期繰越利益）	7,707,571	4,856,171	2,851,400	58.7
当期末処分利益剰余金	11,601,989	7,707,571	3,894,418	50.5

【損益計算書について】

売上高は198,164,988円で、前年度より100,969,023円(33.8%)の減である。

売上原価は96,812,251円で、前年度より55,903,900円(36.6%)の減となっており、差引売上総利益は101,352,737円で、前年度より45,065,123円(30.8%)の減となった。

販売費及び一般管理費は148,962,719円で、前年度より1,941,143円(1.3%)の減となった。

営業利益は47,609,982円の赤字で、前年度より43,123,980円(961.3%)の赤字増となった。

また、営業外収益は49,207,957円で、前年度より43,965,034円(838.6%)の増であった。これは、補助金が前年度より43,900,309円(855.7%)の増となったことが主な要因である。

営業外費用は404,457円で、前年度より400,137円(9262.4%)の増であった。

経常利益は1,193,518円で、前年度より440,917円の増となっている。

また、特別利益の退職給与引当金戻入は2,880,900円で、前年度より602,100円(26.4%)の増となっている。

以上により、当期純利益は3,894,418円で前年度2,851,400円と比較し、1,043,018円の増となった。

なお、前期繰越利益剰余金は7,707,571円であるため、当期純利益と前期繰越利益剰余金を合わせた当期未処分利益剰余金は、11,601,989円となっている。

売上総利益比較表

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位：円、%)

科 目		令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
売 上	入所入浴料	11,956,991	20,381,814	△8,424,823	△41.3
	商品売上	80,757,479	131,295,854	△50,538,375	△38.5
	食堂売上	79,360,136	121,168,057	△41,807,921	△34.5
	使用料収入	4,800	9,600	△4,800	△50.0
	加工賃収入	0	0	0	-
	営業料収入	2,834,255	2,804,972	20,283	1.0
	手数料収入	4,951,895	5,655,786	△703,891	△12.4
	指定管理料	10,532,000	9,429,000	1,103,000	11.7
	業務受託料	5,848,544	5,819,721	28,823	0.5
	自販機手数料収入	1,918,888	2,569,207	△650,319	△25.3
	純売上高	198,164,988	299,134,011	△100,969,023	△33.8

仕 入	期首棚卸高	12,240,932	12,398,593	△157,661	△1.3
	期首棚卸高商品	9,363,548	10,366,249	△1,002,701	△9.7
	期首棚卸高食材	2,877,384	2,032,344	845,040	41.6
	商品仕入高	60,998,905	99,358,396	△38,359,491	△38.6
	食材仕入	30,938,341	51,469,412	△20,531,071	△39.9
	営業料支出	1,738,333	1,730,682	7,651	0.4
	期末棚卸高	9,104,260	12,240,932	△3,136,672	△25.6
	期末棚卸高商品	6,743,871	9,363,548	△2,619,677	△28.0
	期末棚卸高食材	2,360,389	2,877,384	△516,995	△18.0
	売上原価	96,812,251	152,716,151	△55,903,900	△36.6
売上総利益	101,352,737	146,417,860	△45,065,123	△30.8	

販売管理費比較表

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位：円、%)

科 目		令和元年度	令和元年度	増減額	増減率
販 売 管 理 費	役員報酬	3,996,000	3,331,000	665,000	20.0
	給与手当	45,648,247	54,015,599	△8,367,352	△15.5
	雑給	13,497,304	8,039,183	5,458,121	67.9
	賞与	12,218,381	6,563,091	5,655,290	86.2
	退職金	2,880,900	2,278,800	602,100	26.4
	法定福利費	9,539,480	8,698,760	840,720	9.7
	福利厚生費	1,398,455	764,217	634,238	83.0
	消耗品費	5,407,282	2,397,805	3,009,477	125.5
	事務用品費	227,197	267,068	△39,871	△14.9
	賃借料	34,910	30,986	3,924	12.7
	保険料	554,670	523,140	31,530	6.0
	修繕費	864,047	1,053,611	△189,564	△18.0
	客用原価費	4,177,944	4,520,290	△342,346	△7.6
	租税公課	3,831,203	7,082,202	△3,250,999	△45.9
	減価償却費	3,808,254	1,869,246	1,939,008	103.7
	退職給付費用	2,400,000	2,400,000	0	0.0
	旅費交通費	49,600	158,537	△108,937	△68.7
	通信費	1,278,358	1,075,337	203,021	18.9
	水道光熱費	26,211,144	34,217,197	△8,006,053	△23.4
	支払手数料	931,018	1,222,366	△291,348	△23.8
運賃	143,261	160,282	△17,021	△10.6	
広告宣伝費	371,119	704,521	△333,402	△47.3	

販 売 管 理 費	接待交際費	44,049	254,692	△210,643	△82.7
	車輛関係費	802,116	494,108	308,008	62.3
	諸会費	212,830	153,470	59,360	38.7
	外注賃	0	0	0	-
	衛生費	1,478,896	1,492,589	△13,693	△0.9
	会議費	114,000	124,000	△10,000	△8.1
	講習会費	0	77,000	△77,000	皆減
	保守料	4,384,048	3,935,364	448,684	11.4
	リース料	256,355	793,099	△536,744	△67.7
	販売促進費	1,907,963	1,631,713	276,250	16.9
	まるめろ育成費	195,499	363,504	△168,005	△46.2
	寄付金	6,152	85,000	△78,848	△92.8
	雑費	92,037	126,085	△34,048	△27.0
	地域活性化推進費	0	0	0	-
	貸倒損失	0	0	0	-
合 計	148,962,719	150,903,862	△1,941,143	△1.3	

【科目別売上総利益及び販売管理費について】

売上は純売上高が198,164,988円で、前年度より100,969,023円(33.8%)減となっている。主な要因は入所入浴料が8,424,823円(41.3%)の減、商品売上が50,538,375円(38.5%)の減、食堂売上が41,807,921円(34.5%)の減となったことである。

販売費及び一般管理費は、合計額が148,962,719円で、前年度より1,941,143円(1.3%)減となっている。主な要因は、水道光熱費が減となったことである。

売上総利益は、101,352,737円で、前年度より45,065,123円(30.8%)の減となっている。

指定管理及び委託事業の実施状況比較表  
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位：円、%)

区 分	令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
道の駅(竹っ子庵) ※1	6,345,364		6,345,364	皆増
御仮屋御殿	3,507,000		3,507,000	皆増
道の駅(かわや)	7,025,000	5,614,000	1,411,000	25.1
統括部門(会社) ※2	36,038,822	3,815,000	32,223,822	844.7
碓ヶ関簡易駅	4,957,544	4,664,221	293,323	6.3
浄化槽センター除雪委託	396,000	396,000	0	0.0
久吉ダム清掃	495,000	759,500	△264,500	△34.8
駅長業務補助金 ※3	0	4,000,000	△4,000,000	皆減
合 計	58,764,730	19,248,721	39,516,009	205.3

※1 キッチンカー導入事業補助金(新規)

※2 コロナ感染症対策として、指定管理施設事業継続支援金22,000,000円を追加交付

※3 令和2年度から駅長業務は統括部門(会社)に含む

令和2年度の指定管理料及び委託料の総額は58,764,730円で、前年度より39,516,009円(205.3%)の増となっている。

事業別売上総利益及び事業別販売管理費  
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

事業別売上総利益比較表

(単位：円、%)

区 分	売上総損益			
	令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
竹っ子庵	16,061,388	18,052,551	△1,991,163	△11.0
御仮屋御殿	16,371,751	21,636,628	△5,264,877	△24.3
直売所	15,504,987	27,965,150	△12,460,163	△44.6
文化観光館(観光物産館)	40,541,067	63,514,810	△22,973,743	△36.2
道の駅かわや	7,025,000	5,614,000	1,411,000	25.1
会社(※1)	0	3,815,000	△3,815,000	皆減
碓ヶ関簡易駅	4,957,544	4,664,221	293,323	6.3
浄化槽センター除雪委託	396,000	396,000	0	0.0
久吉ダム清掃	495,000	759,500	△264,500	△34.8
駅長業務補助金(※2)	0	4,000,000	△4,000,000	皆減
	0	0	0	-
合 計	101,352,737	150,417,860	△49,065,123	△32.6



※1及び※2 会社及び道の駅いかりがせきの駅長人件費は、運営事業補助金として営業外収益に計上している。

事業別売上総利益は101,352,737円で、前年度より49,065,123円(32.6%)の減である。主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響により、道の駅全体で集客数が減少したためが挙げられる。

事業別販売管理費比較表

(単位：円、%)

区 分	販売費及び一般管理費			
	令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
竹っ子庵	13,016,184	10,187,346	2,828,838	27.8
御仮屋御殿	21,636,994	22,646,068	△1,009,074	△4.5
直売所	14,677,147	29,306,517	△14,629,370	△49.9
文化観光館	58,247,279	55,896,261	2,351,018	4.2
道の駅いかりがせき	5,080,259	5,707,847	△627,588	△11.0
統括部門(会社)	30,755,536	21,521,813	9,233,723	42.9
碓ヶ関簡易駅	5,130,774	4,677,828	452,946	9.7
浄化槽センター除雪※	0	284,000	△284,000	皆減
久吉ダム清掃	418,546	676,182	△257,636	△38.1
合 計	148,962,719	150,903,862	△1,941,143	△1.3

※浄化槽センター除雪は令和2年度から統括部門で整理している。

事業別販売管理費は148,963,719円で、前年度より1,941,143円(1.3%)の減となっている。主な要因は、直売所の一般管理費が14,629,370円(49.9%)の減となっていることが挙げられる。

## 事業別経常利益比較表

### ■売上総利益－販売費及び一般管理費

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位：円、%)

区 分	令和2年度 営業利益	令和元年度 営業利益	増減額	増減率
竹っ子庵	3,045,204	7,865,205	△4,820,001	△61.3
御仮屋御殿	△5,265,243	△1,009,440	△4,255,803	421.6
直売所	827,840	△1,341,367	2,169,207	△161.7
文化観光館	△17,706,212	7,618,549	△25,324,761	△332.4
道の駅かわや	1,944,741	△93,847	2,038,588	△2,172.2
統括部門(会社)	△30,359,536	△17,706,813	△12,652,723	71.5
碓ヶ関簡易駅	△173,230	△13,607	△159,623	1,173.1
浄化槽センター除雪※	0	112,000	△112,000	13.9
久吉ダム清掃	76,453	83,318	△6,865	△8.2
合 計	△47,609,982	△4,486,002	△43,123,980	961.3

※浄化槽センター除雪は令和2年度から統括部門で整理している。

事業全体の経常利益は、47,609,982円の赤字で前年度の4,486,002円の赤字に対し43,123,980円(961.3%)の増となっている。

### 委託事業の各施設集客実績比較表

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

区 分	種 別	令和2年度	令和元年度	増減	増減比
御仮屋御殿	入浴者数(人)	46,255	69,424	△23,169	△33.4
直売所	買物客数(人)	86,772	116,432	△29,660	△25.5
文化観光館	買物客数(人)	57,249	100,830	△43,581	△43.2
合 計		190,276	286,686	△96,410	△33.6

各施設集客実績は、190,276人で前年度より96,410人(33.6%)の減となっている。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響により、道の駅全体で集客数の減少が挙げられる。

直売所（関の庄販売友の会）の農産物等月別売上実績比較表

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（単位：円、％）

区 分	令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
4月	1,144,560	2,565,430	△1,420,870	△55.4
5月	2,779,900	4,533,895	△1,753,995	△38.7
6月	2,688,576	2,750,395	△61,819	△2.2
7月	3,451,540	3,578,020	△126,480	△3.5
8月	5,075,818	5,212,431	△136,613	△2.6
9月	5,550,305	5,754,165	△203,860	△3.5
10月	6,696,610	7,118,020	△421,410	△5.9
11月	4,851,285	5,021,210	△169,925	△3.4
12月	2,878,140	3,450,380	△572,240	△16.6
1月	1,633,270	2,490,345	△857,075	△34.4
2月	1,992,260	2,308,990	△316,730	△13.7
3月	2,522,080	2,346,750	175,330	7.5
合 計	41,264,344	47,130,031	△5,865,687	△12.4

○ 販売友の会状況について

区 分	令和元年度	令和元年度	増 減
会 員 数	64人	66人	△2人
1人当り売上金額	644,755円	714,091円	△69,336円

直売所「関の庄販売友の会」の会員数は、64人と前年度より2人減となっている。合計売上金額は、41,264,344円で前年度より5,865,687円（12.4％）の減となっている。

文化観光館研修室利用状況

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（単位：人）

区分	令和元年度利用人員			令和元年度利用人員			増減数
	休 憩	団体食事	合 計	休 憩	団体食事	合 計	
4月		111	111		332	332	△221
5月		10	10		164	164	△154
6月		13	13		123	123	△110
7月		105	105		196	196	△91
8月		36	36		168	167	△132
9月		144	144		176	176	△32

10月		114	114		229	229	△115
11月		49	49		145	145	△96
12月		42	42	24	112	136	△94
1月		39	39		133	133	△94
2月		15	15		69	69	△54
3月		96	96		196	196	△100
合計		774	774	24	2,043	2,067	△1,293

○ 文化観光館研修室利用状況増減（対前年度比）

合計利用人数	
増減数（人）	増減率（％）
△1,293	△62.6

令和2年度の利用人員は、774人で前年度より1,293人（62.6％）の減となっている。

今後は継続的に各種イベント事業等のPR活動に努め、研修室利用者の増加を期待する。

(2) 各種イベント事業実績（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

1) 令和2年4月25日（土）～令和2年5月10日（日）

◇道の駅いかりがせき 臨時休業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため（平川市と協議）  
（駐車場・かわや棟は24時間開放）

2) 令和2年5月11日（月）

◇道の駅いかりがせき 営業時間の変更

	各店舗営業時間短縮	（通常営業時間）
御仮屋御殿	10：00～20：00	（9：00～20：00）
文化観光館	10：00～18：00	（9：00～19：00）
特産品直売所	9：00～17：00	（9：00～18：00）

3) 令和2年8月8日（土）～9日（日）

◇観光物産市エール津軽!!出店

弘前市・偕行社

自社製品PR販売（マルメロパイ・マルメロカレー・自然薯パウンドケーキ等）

- 4) 令和2年8月29日(土)～30日(日)  
◇あおもり肉フェス2020出店  
青森県観光物産館アスパム  
平川牛さがり肉のPR販売 200g～220g  
767食×1000円=767,000円
- 5) 令和2年9月5日(土)～6日(日)、12(土)～13日(日)  
◇観光物産市エール津軽!!出店  
大鰐町・鰐 come  
自社製品PR販売(マルメロパイ・マルメロカレー・自然薯パウンドケーキ等)
- 6) 令和2年9月5日(土)、19日(土)～20日(日)  
◇碓ヶ関公民館講座(文化観光館 お座敷)  
切り絵教室
- 7) 令和2年9月12日(土)  
◇平川市若者議会(文化観光館 お座敷)  
ワーキンググループ  
市内フィールドワーク
- 8) 令和2年9月19日(土)  
◇未来の担い手発掘・育成・支援事業(文化観光館 お座敷)  
第2回カフェミーティング
- 9) 令和2年9月19日(土)～20日(日)、9月26日(土)～27日(日)  
◇観光物産市エール津軽!!出店  
西目屋村・道の駅津軽白神  
自社製品PR販売(マルメロパイ・マルメロカレー・自然薯パウンドケーキ等)
- 10) 令和2年9月26日(土)～27日(日)  
◇ひろさきりんご収穫祭出店  
弘前市りんご公園  
平川牛さがり肉のPR販売 100g～120g  
607食×600円=364,200円

- 11) 令和2年9月29日(火)～10月5日(月)  
 ◇ 地域資源レポート巡回写真展  
 道の駅いかりがせき 文化観光館ホール
- 12) 令和2年10月3日(土)～4日(日)  
 ◇ 観光物産市エール津軽!!出店  
 田舎館村・道の駅いなかだて  
 自社製品PR販売(マルメロパイ・マルメロカレー・自然薯パウンドケーキ等)
- 13) 令和2年10月10日(土)  
 ◇ I♡CURRY ヶ関カーニバル2020(主催:I♡CURRY ヶ関カーニバル実行委員会)  
 道の駅いかりがせき 関の庄温泉前駐車場  
 カレーフード屋台8店、縁日コーナー・ステージパフォーマンス
- 14) 令和2年10月18日(日)  
 ◇ プラスマルシェ&フリーマーケット(主催;h&fプラス)  
 道の駅 いかりがせき 円形広場  
 手作りワークショップ・フリーマーケット等
- 15) 令和2年11月4日(土)～2月28日(日)  
 ◇ 平川市日帰り入浴プラン  
 食事と温泉入浴のセットプラン
- |     | 実績   | 昨年度  |
|-----|------|------|
| 11月 | 166件 | 63件  |
| 12月 | 188件 | 106件 |
| 1月  | 195件 | 178件 |
| 2月  | 240件 | 146件 |
- 16) 令和2年11月22日(日)  
 ◇ 自然薯初売り
- 17) 令和2年12月24日(木)～27日(日)  
 ◇ クリスマス感謝祭  
 店舗毎のミニ企画
- 18) 令和2年12月31日(木)  
 ◇ 年越しオードブル・寿司・刺身盛り合わせ予約販売  
 お食事処彩里 58件 543,500円

- 19) 令和3年1月2日(土)～16日(土)  
◇ 新春初売り・生け花展・唯称院書道展
- 20) 令和3年1月9日(土)～2月28日(日)  
◇ マルシチ醤油販売キャンペーン  
販売金額 304,830円
- 21) 令和3年3月19日(金)  
◇ キッチンカーデモンストレーション(平川市役所)